

デジタル商品券の早期実施と 区独自の地域通貨を導入せよ

立憲民主党・無所属議員 杉山 司



①デジタル通貨流通システム完成のため、経済支援策として、プレミアム付デジタル商品券を販売しては。②デジタル商品券も包括した区独自の地域通貨の検討を進めては。

区長 ①国や都の補助事業等の動向を踏まえ、中野区商店街振興組合連合会が検討中のデジタル商品券の導入・運用の支援を考えている。②デジタル商品券導入に当たり、地域通貨機能との連携も見据えて検討を進める。

文化・芸術系の 様々なイベントを企画せよ

子どもたちが小さいうちか

ふるさと納税での 納税額獲得施策を問う

中野区の令和3年度の寄付金税額の控除額は21億円で、大きな減収となっている。飲食店利用が返礼品として可能となった今、新たなサービスを展開する事業者を選択し、ふるさと納税寄付受付の窓口拡大を図るべきではないか。

中野五丁目エリアの まちづくりを問う

自由民主党議員団 市川 しんたろう



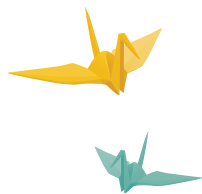
①中野四丁目から五丁目に向け、歩行者デッキで繋ぐ計画を検討していると聞いている。都市計画手法のエリア設定は、五丁目エリア全体に波及する形であるべきで、繋げて終わりというような単体事業とならないことが重要である。都市計画手法について区の見解は。②五丁目地区の課題である防災性や回遊性を高め、地区の魅力を最大限生かすまちづくりの手法として、中央区の月島地区や大阪市の法善寺横丁などの、連担建築物設計制度や建築協定、地区計画等の手法を提案してきた。

区長 認知度が高い事業者のサービスを活用したふるさと納税の実施を検討する。

中野通り西側線路沿いの 石積みを改善せよ

中野駅周辺の再開発が進む中、石積み部分の改修計画等はない。洗浄や街灯を増やす等の改善のほか、石積み擁壁耐震補強工事等で景観の改善をしてはどうか。

区長 石積みはJR東日本所有物であり、改善はJR東日本が判断し行うものであるため、意見があった旨を伝えたい。



区の子育て支援策について 問う

公明党議員団 甲田 ゆり子



国は総合経済対策で、子育ての一貫した伴走型相談支援と、経済的支援を一体とした事業を創設し、継続的に実施するとした。①区は、子育ての伴走型支援をどう考えているか。②子育て支援策を統括できる体制をつくるべきではないか。

アール・ブリュットの活用を

区長 ①妊娠・出産・子育てトータルケア事業を中心に行ってきた、個々のニーズに応じた切れ目ない支援を行う取り組みを、伴走型支援であると考えている。②すこやか福祉センターの企画調整を担う基幹機能の強化に取り組んでおり、伴走型支援の体制の整理、充実を図っていく。

スクールソーシャルワーカー (SSW)について問う

不登校の子どもへの対応策を講じていくSSWについて、今後の取り組みは。

子どもの権利を 大切にする取り組みを

立憲民主党・無所属議員団



①小学生対象の子ども会議の実施を検討してはどうか。②子どもの声の実現や貧困対策に応える「(仮称)なかの子ども未来基金」を創設しては。③費用面も含めた、子ども・若者のチャレンジを伴走支援できる制度を構築しては。

児童・生徒の声を活かした 教育政策を

区長 ①子どもの権利委員会での議論を踏まえ検討を進める。②基金の創設も含め、

防災まちづくりを問う

自由民主党議員団 生藤 健人



地区の防災性向上のため、どのような取り組みを行うのか。

帯状疱疹ワクチンについて 問う

実施予定の交付金を活用したワクチン助成事業の内容は。

区長 生ワクチン、不活化ワクチンのどちらかを希望者に選択してもらい、助成額については、それぞれ接種費用の半額程度を予定している。



上高田地域の防災まちづくり について問う

上高田一・二丁目及び三丁目周辺地区防災まちづくりの会からの提案を受け、上高田

教育長 常時、児童・生徒を交えた熟議を行うことは難しいと考えるが、意見を聴く機会の確保は、学校運営協議会において検討する。

地域のニーズに合わせた 子育て支援を

児童館の一時預かりの利用を0歳児も対象としたり、日曜開館を乳幼児に限らないかたちで実施する等、地域のニーズに合わせた事業展開による子育て支援をしてはどうか。

防犯カメラ設置助成の 適正化を

①都の要綱による補助金の運用ではなく、区独自の防犯設備の仕様を設定するべきで

展開や事業内容と合わせて検討する。

魅力ある遊び場の 早期の実現を

①公園の規模に関わらず、アイデアを募集する等、多様な官民連携に挑戦すべきでは。②常設プレーパークについては、改めて庁内で検討体制を整備し、課題や役割分担を明確にした上で、早期の実現を

